

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 株式会社 イクボ  
 コード番号 7273 URL <http://www.ikuvo194.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(氏名) 渋谷 和彦  
 (氏名) 林 泰紀  
 配当支払開始予定日 未定

TEL 046-285-2046

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,359	—	△83	—	△127	—	△144	—
20年3月期第1四半期	5,099	—	84	—	46	—	15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△9.43	—
20年3月期第1四半期	1.00	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	13,694	—	1,924	—	14.0	—	125.41	
20年3月期	13,629	—	2,157	—	15.8	—	140.60	

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 1,924百万円 20年3月期 2,157百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,930	△12.3	10	△21.0	△98	—	△123	—	△8.01
通期	18,500	△9.6	323	△41.0	76	△69.8	15	△88.8	0.97

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	15,385,000株	20年3月期	15,385,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	40,074株	20年3月期	39,174株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	15,345,376株	20年3月期第1四半期	15,347,126株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経済環境は米国発の景気の落ち込み、原油価格高騰によるガソリン代の大幅上昇などの影響もあって、主要顧客である自動車メーカーは国内販売および先進国向け輸出がともに厳しい局面に立たされております。

こうした状況下にあつて、当社グループは国内各自動車メーカー関連の自動車部品の売り上げが前年同期に比べおしなべて減少したのに加えて、米国関連会社ではGM向け部品が大幅に減少した結果、連結売上高は4,359百万円（前年同四半期比14.5%減少）、営業損失83百万円、経常損失127百万円、四半期純損失144百万円となりました。

昨年度は創業60周年の節目の年として大幅な経営刷新を図ることによって収益改善を実現いたしました。当連結会計年度は内外の経済環境は厳しいものの引き続き主要顧客のご理解を得て、資産の効率活用、工場別生産性の抜本的改善運動を着実に進めることによって、経営体質を強化し業績の確保をめざしております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は13,694百万円となり、前連結会計年度に比べ65百万円増加いたしました。流動資産は4,938百万円となり、115百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金の増加（436百万円）、受取手形及び売掛金の減少（286百万円）、棚卸資産の増加（15百万円）等です。固定資産は8,756百万円となり50百万円減少しました。主な要因は有形固定資産が生産の減少もあって新規取得よりも減価償却費が上回り42百万円の減少となったことです。

当第1四半期の負債合計は11,770百万円となり、前連結会計年度に比べ298百万円増加いたしました。流動負債は5,394百万円となり、24百万円増加しました。主な要因は短期借入金の増加（499百万円）、支払手形及び買掛金の減少（452百万円）等です。固定負債は6,375百万円となり、274百万円増加いたしました。主な要因は当連結会計年度第1四半期から新リース会計の早期適用に従い、長期リース債務（324百万円）を新たに計上したことによる増加です。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は米国グループ会社の業績悪化及び国内自動車メーカー向けの売上げ低下の影響で苦戦を強いられましたが、第2四半期に向けて資産の効率活用、新規受注営業展開、工場別生産性の改善などに取り組み中であることもあり、現段階では平成20年5月23日発表の業績予想の修正は行っておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

棚卸資産の評価方法は、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

原価差異の配賦について、原価差異を棚卸資産と売上原価への配賦を簡便的な方法により計算しております。

### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

### ・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。
3. たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による低価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。
4. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月18日）を適用し、連結上必要な修正を行っております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,154,299	718,153
受取手形及び売掛金	2,620,389	2,906,816
製品	218,363	192,344
原材料	375,703	344,749
仕掛品	149,792	180,803
その他	419,947	479,757
流動資産合計	4,938,496	4,822,625
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,829,686	5,901,340
減価償却累計額	△3,690,807	△3,670,544
工具、器具及び備品	20,074,764	19,958,887
減価償却累計額	△17,911,931	△17,553,205
土地	2,008,049	2,010,894
その他	1,707,123	1,411,555
有形固定資産合計	8,016,885	8,058,928
無形固定資産	23,060	23,969
投資その他の資産	716,235	723,522
固定資産合計	8,756,181	8,806,420
資産合計	13,694,677	13,629,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,490,682	2,942,951
短期借入金	2,025,341	1,526,282
未払法人税等	4,720	26,851
賞与引当金	149,219	98,858
その他	724,531	775,384
流動負債合計	5,394,496	5,370,328
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	4,962,846	5,028,779
退職給付引当金	779,095	749,004
その他	543,795	233,252
固定負債合計	6,375,737	6,101,037
負債合計	11,770,233	11,471,365

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る要約  
連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)  
当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)

純資産の部		
株主資本		
資本金	2,298,010	2,298,010
資本剰余金	2,323,426	2,323,426
利益剰余金	△2,724,105	△2,579,327
自己株式	△8,585	△8,433
株主資本合計	1,888,746	2,033,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,365	126,547
為替換算調整勘定	△100,667	△2,541
評価・換算差額等合計	35,697	124,005
純資産合計	1,924,443	2,157,681
負債純資産合計	13,694,677	13,629,046

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	4,359,099
売上原価	3,944,338
売上総利益	414,760
販売費及び一般管理費	498,370
営業損失(△)	△83,609
営業外収益	
受取利息	838
受取配当金	4,053
金型精算差益	5,328
為替差益	15,366
その他	6,561
営業外収益合計	32,148
営業外費用	
支払利息	68,775
その他	6,866
営業外費用合計	75,641
経常損失(△)	△127,102
特別利益	
固定資産売却益	5,104
特別利益合計	5,104
特別損失	
固定資産除却損	9,745
特別損失合計	9,745
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,743
法人税、住民税及び事業税	7,472
法人税等調整額	5,561
四半期純損失(△)	△144,777

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

自動車関連事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,810,277	548,822	4,359,099	—	4,359,099
(2)セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—
計	3,810,277	548,822	4,359,099	—	4,359,099
営業損益	△56,730	△26,879	△83,609	—	△83,609

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	米国	計
I 海外売上高（千円）	548,822	548,822
II 連結売上高（千円）	—	4,359,099
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	12.5	12.5

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	5,099
II 売上原価	4,523
売上総利益	575
III 販売費及び一般管理費	490
営業利益	84
IV 営業外収益	56
V 営業外費用	95
経常利益	46
VI 特別利益	—
VII 特別損失	9
税金等調整前四半期純利益	36
税金費用	21
四半期純利益	15